

様式1

事業報告書

(自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日)

1 医療法人の概要

- (1) 名称 医療法人社団 かん小児科
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 ( ☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり )
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
- ☐ 出資額限度法人 ☒ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
- 注) ①から③のそれぞれの項目(③は社団のみ。)について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 静岡市葵区長沼258番地の7
- (3) 設立認可年月日 平成15年6月28日
- (4) 設立登記年月日 平成15年7月4日

2 事業の概要

- (1) 本来業務(開設する病院、診療所又は介護老人保健施設(医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。)の業務)

種類	施設の名称	開設場所	許可病床数	
診療所	かん小児科クリニック	静岡市葵区長沼258番地の7	一般病床	床
			療養病床	床
			[医療保険	床]
			[介護保険	床]

- (2) 当該会計年度内に社員総会又は評議委員会で議決又は同意した事項
- 令和2年4月24日 令和元年度決算の決定
- 令和3年2月28日 令和3年度の事業計画及び収支予算の決定
- 〃 令和3年度の借入金額の最高限度額の決定

様式2

法人名 医療法人社団 かん小児科  
所在地 静岡市葵区長沼258番地の7

※医療法人整理番号					
-----------	--	--	--	--	--

財 産 目 録  
(自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日)

1. 資 産 額	41,470千円
2. 負 債 額	12,648千円
3. 純 資 産 額	28,822千円

(内 訳) (単位:千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	35,611
B 固 定 資 産	5,859
C 資 産 合 計 ( A + B )	41,470
D 負 債 合 計	12,648
E 純 資 産 ( C - D )	28,822

(注)財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の口を塗りつぶすこと。			
土 地	( <input type="checkbox"/> 法人所有 <input checked="" type="checkbox"/> 賃借	<input type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借) )	
建 物	( <input type="checkbox"/> 法人所有 <input checked="" type="checkbox"/> 賃借	<input type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借) )	

様式 3-2

法人名	医療法人社団かん小児科	※医療法人整理番号				
所在地	静岡県葵区長沼258番地の7					

貸 借 対 照 表  
(令和 3 年 2 月 28 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	35,611	I 流 動 負 債	12,648
II 固 定 資 産	5,859	II 固 定 負 債	
1 有 形 固 定 資 産	2,076	(うち医療機関債)	
2 無 形 固 定 資 産	3,685	負 債 合 計	12,648
3 そ の 他 の 資 産	98	純 資 産 の 部	
		科 目	金 額
		I 出 資 金	5,000
		II 積 立 金	23,822
		III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
		純 資 産 合 計	28,822
資 産 合 計	41,470	負債・純資産合計	41,470

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

法人名 医療法人社団 かん小児科  
所在地 静岡市葵区長沼258番地の7

※医療法人整理番号				
-----------	--	--	--	--

損 益 計 算 書  
(自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日)

(単位:千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	80,420
2 事業費用	96,122
本来業務事業損失	15,702
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	
2 事業費用	
附帯業務事業利益	-
事業損失	15,702
II 事業外収益	780
III 事業外費用	404
経常損失	15,326
IV 特別利益	
V 特別損失	
税引前当期純損失	15,326
法人税等	71
当期純損失	15,397

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。  
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。